



私の3冊

三苦由紀子

後輩に薦める 2 冊

阿部順子，蒲澤秀洋（監修），名古屋市総合リハビリテーションセンター（編著）
50 シーンイラストでわかる 高次脳機能障害「解体新書」
—こんなときどうしよう!? 家庭で，職場で，学校での“困った”を解決！
メディカ出版，2011

高次脳機能障害者が社会に出てからの問題はなかなか解りにくい部分だと思います。この本は，実際に遭遇し，対応されてきた高次脳機能障害者によるトラブルのエピソードと解説がわかりやすく書かれています。ご本人やご家族に症状の具体的な説明をするときや，新たな視点での訓練プログラムを立案するときに参考になるのではないのでしょうか。

若林秀隆（編著）

リハビリテーション栄養 Q & A 中外医学社，2013

リハビリテーションを行っている患者さんにとって栄養はとても重要です。この本は，リハビリテーション栄養に関する臨床現場での疑問を入門編，知識編，実践編に分け説明してあります。リハビリテーション栄養をこれから勉強したい，実践したいけれどどうしたらよいかわからない人にお薦めです。職種を問わず，リハビリテーション栄養の実践に役立つ内容だと思います。

自分の 1 冊

S. E. ギャザコール，T. P. アロウェイ（著），湯澤正通，湯澤美紀（訳）
ワーキングメモリと学習指導—教師のための実践ガイド
北大路書房，2009

この本は，教師のための実践ガイドとなっていますが，発達障害児や高次脳機能障害者にかかわっている方，ワーキングメモリについてもっと知りたいと思っている方には参考になるのではないかと思います。

ワーキングメモリの説明や，ワーキングメモリが小さいために生じる困難さや，支援の方法などが書かれているので，発達障害児以外にも，成人の高次脳機能障害の方への復職支援などにも考え方が応用できるのではないかと思います。

■ ひとま・ゆきこ 言語聴覚士 15 年目 博仁会福岡リハビリテーション病院リハビリテーション部

現在，リハビリテーション病院に勤務しており，回復期病棟，一般病棟，外来を経験し，さまざまな障害の方のリハビリテーションを担当しています。言語聴覚士になったときは成人領域だけでしたが，子供が生まれてからは小児領域にも足を踏み入れました。最近は，リハビリテーションを行ううえで栄養が重要であることを知り，リハビリテーション栄養についても学んでいます。まだまだ自分の知識の足りなさを感嘆しており，これからもたくさんの方のことを学んでいきたいです。